



第 22 号

R2.11.24

文責 倉迫

建学 145 年

校内音楽会

11月20日(金)の午後から「校内音楽会」を実施しました。感染拡大に配慮しながらの初めての音楽会です。観覧は、学年ごとの入れ替え制を採用したり Zoom や Youtube での配信を行ったりとこれまでにはない、様々な工夫をこらしての発表会となりました。

学校では、運動会の練習と並行しながらこれまで各学年で練習を重ねてきました。本番当日、たくさんの保護者の方に見守られながら、精一杯の発表が出来たのではないかと感じています。

プログラムごとに感想を述べます。

1年生「だいすきな五福小学校」これまでの初めての学校生活を振り返り、国語科の学習や学校行事、生活科の学習などをまとめ、子どもたちの「学校大好き」という気持ちが伝わる発表でした。最後は、今月の歌「虹」を手話で表現してくれました。

2年生「おどるポンポコリン」「切手のないおくりもの」元気いっぱいの2年生。まずは、ダンスでその元気の良さを表現し、次に、手話での「切手のないおくりもの」です。ダンスの振り付けがなかなかユニークですね。手話を交えた発表にも、感染拡大に配慮した姿が見えます。



1年生「だいすきな五福小学校」



2年生「おどるポンポコリン」「切手のないおくりもの」

3年生「とどけようこのゆめを」「パフ」
元気な歌声の3年生。体いっぱいを使いリズムに乗り、きれいな歌声を聞かせてくれた「とどけようこのゆめを」。次に、3年生から始まったリコーダー奏です。2部合奏できれいなメロディーを聞かせてくれました。

4年生「オーラリー」「クラッピングファンタジー第4番」リコーダー奏の「オーラリー」。高いミ・ファをきれいに出すのが難しそうです。でも、これまでの練習の成果をしっかりと発揮していました。次は、コロナ禍の中でどのようにして音楽の授業を行おうかと工夫されたクラッピング。踊りながら違うリズムの手拍子が小気味いいです。

5年生「アフリカンシンフォニー」
高学年からは、様々な楽器を使った合奏です。5年生はリズムが難しい「アフリカンシンフォニー」。リズムが乱れないようにこれまで練習を重ねてきました。本番でも正確なリズム楽器にのせて、それぞれの役割を見事に果たしていました。

6年生「情熱大陸」。大トリは、6年生のみんなの心が一つになった合奏「情熱大陸」。各パートの際立つ演奏があり、それが全体の演奏をさらに引き立てています。6年生の手拍子に合わせて、私も思わず手や体が動き出し、演奏のすばらしさに引きまわっていきました。

運動会から続く「校内音楽会」。感染拡大に配慮しながら、何とか子どもたちの楽しみや学級のまとまり、子どもたちに達成感や成就感を味わわせたいと取り組んできました。保護者の皆様、いかがだったでしょうか。ご感想等を「五福ノート」等でお寄せいただくとう嬉しです。本日は、たくさんの保護者の方にご観覧いただき、ありがとうございました。



3年生「とどけようこのゆめを」「パフ」



4年生「オーラリー」「クラッピングファンタジー第4番」



5年生「アフリカンシンフォニー」



6年生「情熱大陸」